

循環型社会の実現に向けて

ごみの減量や資源化は、決してそれ自体が目的ではありません。

彦根市では、ごみ処理基本計画の基本理念として『もったいない』を実現するまち「ひこね」を掲げており、「循環型社会」の実現のために必要な取組として行うものです。

限られた資源を有効に使うために

使える資源が乏しかった昔の日本では、つつましく無駄のない暮らしをするために、知恵を絞っていました。

今では、世界中から集まる資源は無限にあるものを思い込んで、とても無駄の多い暮らしをしているといえます。

買い物をする前に、何かを捨てる前に、いつも「もったいない」という気持ちを持って、人と環境にやさしい暮らしを目指しましょう。

彦根市は、人と環境が調和した魅力あるまち、将来へとつながる持続可能な循環型社会の創造を目指して、実現への取組と皆さんへの情報発信を続けていきます。

これからも引き続き、ごみの減量と資源化へのご協力をお願いします。